

## 筑波大学附属病院 女性医師企画「ふらっと、さんふじんか」

若い世代の女性に、ピルや HPV ワクチン、月経、避妊方法について、知ってもらいたい！  
筑波大学学園祭で情報提供、医師の無料相談。昨年大好評、600 人近くが来場！

### 【企画の目的】若い世代に「知識」と「安心」を届けたい

若い世代の女性が産婦人科系に関する悩みや知りたいことがあっても、病院の産婦人科やクリニックを訪れるのはハードルが高いのが現状です。そこで、筑波大学附属病院産婦人科の女性医師たちが正しい知識や情報を提供して、必要な際には早期受診してもらうことを目的に、筑波大学学園祭に出展します。「産婦人科ってどんなところ？」「(子宮頸がん予防を目的とした) HPV ワクチンは必要？」「避妊の方法って？」「自分の生理は異常？」など、普段なかなか相談しにくい疑問に直接お答えします。HPV ワクチンの重要性や正しい避妊法、月経に関する基本的な情報をわかりやすく提供し、受診への不安を少しでも取り除くことを目標としています。学生にアンケートを行って質問を募集し、若い世代のニーズに合わせた情報となっています。

### 【企画の背景】“もっと早く受診して欲しかった”

このイベントは、筑波大学附属病院産婦人科の女性医師たちの強い思いから誕生しました。医師たちは、日々の診療で、「もっと早く産婦人科を訪れてくれれば・・・」と感じることが多く、特に、若い世代の女性のピルや HPV ワクチン、月経や避妊法に関する知識不足や誤解を多く見てきました。「産婦人科は敷居が高い」「どのようなところか不安」と受診をためらう結果、深刻な症状を抱えこむケースも少なくありません。「受診方法を知りたい」「ピルで太るって本当？」などの疑問にも丁寧にお答えします。「もっと身近に感じ、気軽に受診できるようにしたい」という思いから、実際に、近隣の産婦人科に取材に行き得た情報や女性が感じる雰囲気など、“押し”のポイントも紹介します。

### 【反響】昨年大好評につき継続、新企画も！

昨年、初めて出展した「ふらっと、さんふじんか」は、予想の3倍の 600 人近くにご参加頂き、事後アンケートでは、多くの若い女性から「もっと早く知っておきたかった！」という感想が聞かれました。取り組みを継続するとともに、今年は、大切な女性を守るために男性に知って欲しいことや女性の更年期障害に関する情報提供・相談コーナーも設け、バージョンアップします。さらに、多くの方々のご参加をお待ちしています。

### 開催概要

日時 2024 年 11 月 3 日(日)、4 日(月・祝)午前 10 時～午後 4 時

場所 筑波大学 体育・芸術エリア

内容【教えて先生！】 女性医師が直接回答する素朴な疑問への無料相談コーナー

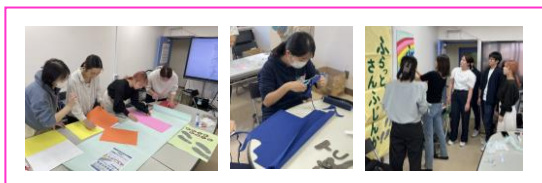
【正しい知識】 HPV ワクチンの重要性や避妊方法に関する展示

【情報展示】 女性医師の実際の取材による地域の産婦人科おすすめポイント

【新企画】 “女性の更年期障害” “大切な女性を守るために、男性に知って欲しいこと” など、健康への意識を高める内容

【無料配布】 コンドーム 200 個、ナプキン 300 セット

【今年の準備風景】





【昨年の様子】





